

令和5年度第1回強靱化分科会 議事要旨

1 日時

令和5年7月25日(火)15:00~16:30

2 場所

Web会議による開催

3 出席者(敬称略)

(1) 通信事業者

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社
株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス
株式会社NTTドコモ
ソフトバンク株式会社

(2) 団体

一般社団法人無線LANビジネス推進連絡会
セキュア公衆無線LANローミング研究会

(3) 東京都

デジタルサービス局

4 議事

(1) 今年度の会議運営について(東京都)

(2) 「つながる東京」展開方針について(東京都)

(3) 「OpenRoaming対応Wi-Fi展開方針」の基本的な考え方について(東京都)

(4) OpenRoaming対応Wi-Fi整備の候補施設について

ア 事務局資料説明(東京都)

イ 意見交換

(5) OpenRoaming対応Wi-Fi市場への事業者の拡充について

ア 事務局資料説明(東京都)

イ 意見交換

(6) OpenRoaming対応Wi-Fiの普及啓発について

ア 事務局資料説明(東京都)

イ 意見交換

(7) ご意見等

5 議事概要

東京都から議事及び「つながる東京」の基本的考え方について説明。通信事業者及び有識者からも発表いただき、意見交換を行った。

(1) 今年度の会議運営について

- 2023年度から、議題を TOKYO Data Highway に特化し、「つながる東京」の実現に向けた各通信手段の展開方針、アクションプラン等「つながる東京」の方向性を検討する会議体としてリニューアル
- 協議会に「つながる東京」展開方針の事務局案を諮り、8月に公表、12月に3か年のアクションプランを公表

(2) 「つながる東京」展開方針について

- 通信の冗長化を図るため、5Gだけでなく、Wi-Fiなど多様な通信手段を活用し、陸海空で「つながる東京」を実現。各通信手段の特性に応じ、適材適所で使い分け、「いつでも、誰でも、どこでも」つながる環境を確保
- 現在東京都は、海外諸都市との厳しい都市間競争にさらされ、デジタル化で遅れをとっている状況
- 東京都の5G人口カバー率は、99.5%だが、低周波数帯5G、sub6、ミリ波を組み合わせたエリアカバーが必要

(3) 「OpenRoaming 対応 Wi-Fi 展開方針」の基本的な考え方について

- 2030年の目指す姿は、平時では、様々な場所で接続を意識せずWi-Fiを利用できること。災害時には、すべての避難所、避難場所に設置されていることである。

(4) OpenRoaming 対応 Wi-Fi 整備の候補施設について

ア 事務局資料説明（東京都）

- 都立施設の整備、区市町村施設、民間施設への働きかけ

イ 意見交換

<質問①>避難所等の施設へのWi-Fi整備について、現在、課題になっていることはあるか。また、東京都に期待することは何か。

一般社団法人無線LANビジネス推進連絡会

- OpenRoaming に登録していない人が、災害時に、どうやって接続するかが課題
- 民間施設に対して、認証方式や会員管理等の部分についてビジネスモデル的にどう連携していくかが課題

<質問②>民間施設について、OpenRoaming が有効だと考えられる業界やそこに対する普及活動はあるか。

A 社

- 社会性、公共性の高い施設、半官半民のような業界。災害時は一時滞在施設などである。
- インバウンド向け施設
- エリア整備を進めた上で、公共・社会性の高い民間企業へ啓蒙活動を行うこと。

セキュア公衆無線 LAN ローミング研究会

- 大規模商業施設だけでなく、個人店舗などのセキュリティの弱い Wi-Fi に対して、認知拡大や普及啓発をしていくべき。

(5) OpenRoaming 対応 Wi-Fi 市場への事業者の拡充について

ア 事務局資料説明 (東京都)

- OpenRoaming 認証基盤の提供事業者が少ないため、環境整備を国に求めている。

イ 意見交換

<質問①>キャリア Wi-Fi と OpenRoaming の役割、設置目的の違いについて

B 社

- キャリア Wi-Fi は、契約者向けにセルラーのオフロード観点での役割で整備してきたが、現在はそれに加えマーケティング観点で当社ポイントクラブ会員へ加入促進、会員様が Wi-Fi 通信および会員向けサービス利便性向上のための役割となっている。

D 社

- キャリア Wi-Fi は、契約者に対してより良い通信品質を提供するのが目的

- OpenRoaming は、契約の有無にかかわらず通信回線の提供を目的としている。

<質問②> OpenRoaming 事業に参入するためにはどのような条件や環境が必要か。また、それを実現するために東京都に期待することは何か。

C 社

- アクセスポイントの事業者や認証中継サーバーを提供する事業者、ID プロバイダーなど様々な関係者がいて成り立つサービスのため、サービス品質、障害発生時の対応、認証ログの活用に向けた、プライバシーにも配慮した取り扱いの仕方などに関して一定のルールや環境整備が必要
- Wi-Fi 設置場所のオーナー様に対して、サービスの特徴やメリットデメリットなどの情報発信を都に期待する。

B 社

- ビジネス的に、OpenRoaming とキャリア Wi-Fi 認証がどう連携して価値を出すかが課題。マーケティングデータを会員ビジネスにどう寄与できるかなどの整理が必要
- 整備費用等の負担の担い手についての整理が必要

D 社

- 役割、目的、設置方法が異なるため、既存の Wi-Fi と並存できる条件や環境整備が必要

<質問③> OpenRoaming 事業に参入した理由や今後の展開方針について

A 社

- フリーWi-Fi の利便性を重視する一方、セキュリティ面が課題として感じており、それらを両立する OpenRoaming を導入したいと考えていた際に、東京都から OpenRoaming 導入に関する事業が立ち上がったため、お客様に資するものと考え、参入した。全国的に関心が広まっているような声も、聞こえており、今後も OpenRoaming の整備普及を進めていきたい。

(6) OpenRoaming 対応 Wi-Fi の普及啓発について

ア 事務局資料説明 (東京都)

- OpenRoaming 対応 Wi-Fi の普及啓発における課題は、認知度の低さ及び利用者数が少ないことにある。
- 解決の方向性は、観光庁、大学への働きかけ、Note やホームページ上での発信、OpenRoaming 導入施設へのステッカー、パンフレットの配布などである。

イ 意見交換

<質問①>効果的な普及啓発について、どのような内容や方法が有効か。

一般社団法人無線 LAN ビジネス推進連絡会

- 災害時の 00000JAPAN については、平時の防災訓練や、防災対策啓蒙活動と連携し、啓蒙を行い、認知度を向上させた。
- OpenRoaming のアピールポイントを明確にすること。

<質問②>運用開始してから利用の声は怎么样了。

A 社

- 安全安心なフリーWi-Fi として評価していただいております、もっと使える場所を増やしてほしいという声が多い。

<質問③>観光庁「Japan.Free Wi-Fi」に対する働きかけについて

A 社

- 東京都の整備したアクセスポイントがある程度増えた段階で、登録を申請する。
- Japan.FreeWi-Fi 以外のインバウンド向けメディアへ働きかけを行う。

C 社

- ありとあらゆるチャンネル手法を使って情報発信をしていくことは重要

(7) その他全体を通したご意見等

セキュア公衆無線 LAN ローミング研究会

- 区市町村への整備に関しては、多くがコスト負担を気にするため、ID の発行、認証サーバーの導入等を含めたフルスペックでの投入だけではなく、規模感の調整が必要と考える。
- ありとあらゆるチャンネル手法を使って情報発信をしていくこと。
- SIer や Nier の参入が進んでいない理由として、事業者のスキルが不足している点、以前と比べて無線 LAN 整備への補助金が少

なくなっており、OpenRoaming に対する需要がどの程度かわからない点、国や事業者の知識が不足している点が挙げられる。

- OpenRoaming 利用者のデータを他の自治体とどう共有するのか。どのように利用するか、についての議論が必要
- 留意していただきたいのは、eduroam でも OpenRoaming につながるのではなく、OpenRoaming のスポットに行くと、同時送出している eduroam につながるスキームであるという点である。